

令和元(2019)年度 宿泊税を財源とした事業一覧 【総充当額】 176,482千円 ※基金積立分を含む

施 策	個別施策	事 業 名	事 業 内 容	事業費(決算額) (千円)	宿泊税充当額 (千円)	担 当 課
リゾート地としての 質の向上	ニセコ・羊蹄山の環境保全	なだれ情報精緻化事業	ニセコエリアにおける、なだれ情報精緻化のための風力計の設置強化、風力データの連携システム整備、なだれ情報提供の継続に係る事業 (ニセコアンヌプリ地区雪崩事故防止対策協議会負担金)	1,400	1,400	観光課
	安全・安心なリゾート形成	観光客用防災備蓄物品購入事業	大規模停電時の携帯端末等充電用発電機等の購入	1,980	1,980	総務課
		ニセコひらふ安全センター運営事業	リゾート開発に伴う急速な交流人口の増加や国際化の進展に伴い、ニセコひらふ地区における地域住民や観光客の安全安心を確保するため、倶知安警察署管内から警察官、また道警本部から自動車警ら隊の派遣を受け、同地区に臨時交番を設置し、運営・維持する事業 設置期間: 令和元(2019)年12月1日～令和2(2020)年3月20日	3,595	3,595	住民環境課
リゾートタウンとしての 魅力の向上	“観光インフラ”の整備	ひらふ第一駐車場安全管理業務委託料	ひらふ第一駐車場が再整備されるまでの間、安全確保のための誘導體制を強化。特に、ひらふ坂への出口付近の誘導対応を強化。	5,382	5,382	観光課
		観光サービス集積システム構築支援事業	地域連携DMOにおいて、観光客の個別データ及びニセコエリア内で提供できるサービス・施設データの整理を進め、AIを用いた消費動向把握とマーケティング分析を進めている。加えて、観光客の利便性を高めるための、各種観光サービスの連携やキャッシュレス化の取組への展開が見込まれるため、ニセコ観光圏を經由して各種取り組みの支援を行う。 R元年度は、ニセコ観光圏においてAIを用いた観光地データ整備・観光案内機能の調査を実施した。	248	248	観光課
		倶知安観光案内所「i Center」機能強化事業	観光協会が運営する倶知安駅構内にある倶知安観光案内所「i Center」について、JNTOの認定を取得すべく対応機能を強化する取組の支援を行った。 (倶知安観光協会事業補助金)	1,920	1,920	観光課
		スタッフ育成支援事業	観光客に対応する観光関連産業のスタッフの質の向上への取組。令和元(2019)年度は、G20関連事業と連携して開催するニセコ観光圏としての事業。 地域人材育成研修支援事業及びスタッフトレーニングを実施。	123	123	観光課
		ひらふ地区ロードヒーティング事業電気料	観光客や歩行者の通行の安全を確保するためのひらふ坂歩道ロードヒーティングの電気代	10,314	10,314	建設課
宿泊税の導入・運営等に係る経費等	宿泊税啓発資材制作業務	ポスター・リーフレット等の啓発資材制作業務	766	766	総合政策課	
	宿泊税基金積立て	後年度事業に充当するための積立て	150,754	150,754	総務課	